

軽米病院だより

人生会議＝「ACP」とは？

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

介護・保健福祉・医療従事者の間では浸透しているのですが、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）という言葉があります。これは将来の変化に備え、患者さんを主体に、その家族や近い人、医療・ケアチームとが話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援する取り組みのことです。患者さんがこれまでに大切にしていたこと、家族に伝えておきたいこと、最期の時間をどのように過ごしたいか？などを皆さんで話し合っておいてほしいのです。

特に超高齢社会を迎えて、人生の締めくくりの時期に、家族や医療関係者などがどのように寄り添っていったらいいのかが、今まで以上に大きな課題になっています。もちろん、人の考え方も変わりますので、その都度繰り返し話し合うことが重要です。そうすることで、本人の意思が尊重された医療・ケアを受けることが可能になり、残されたご家族にとっても重要な意味を持ちます。

どうか前向きに捉えて、今後について、家族、かかりつけ医、看護師、ケアマネージャーさんなどに相談してみてください。